

2017-9-3

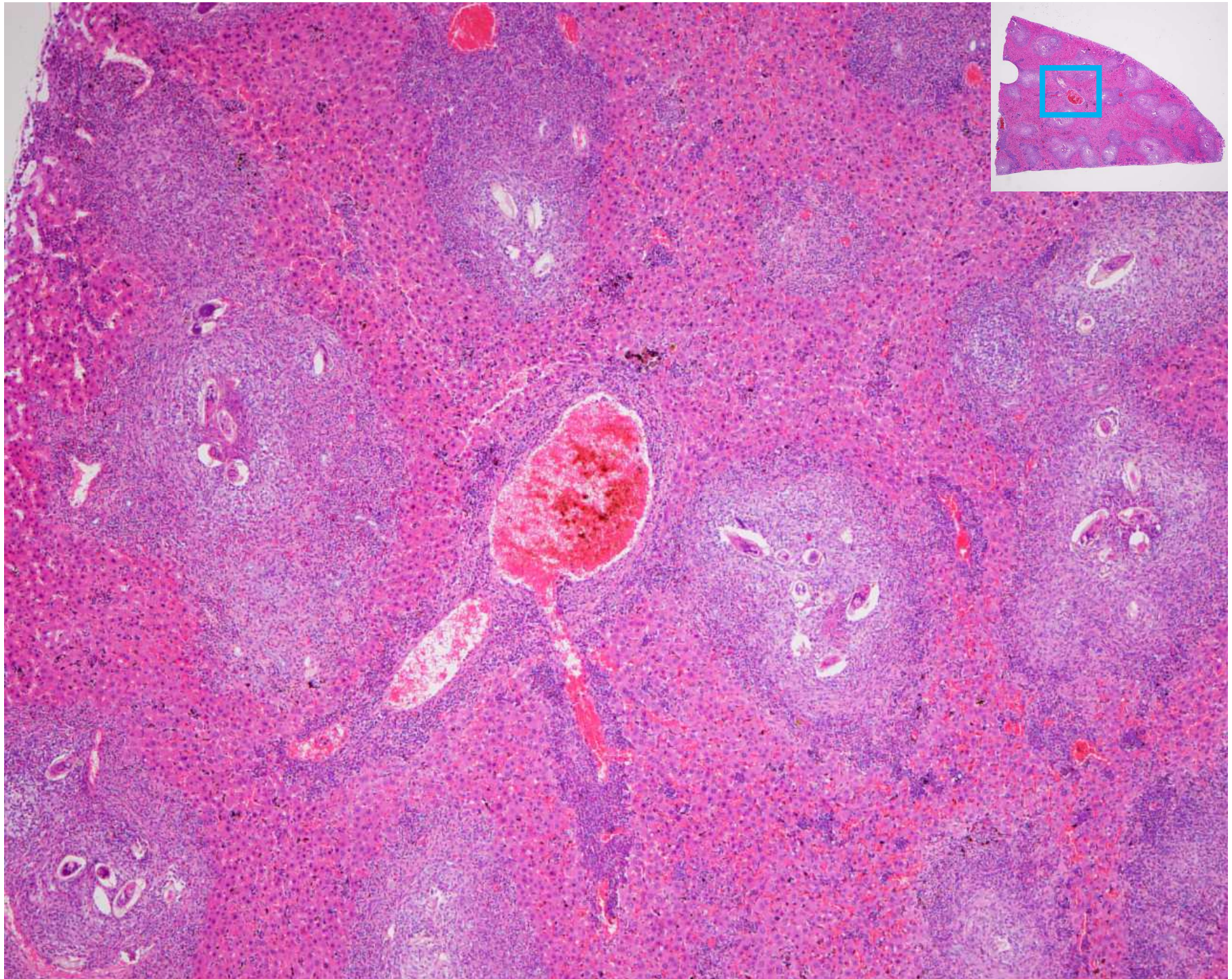
マウス 肝臓

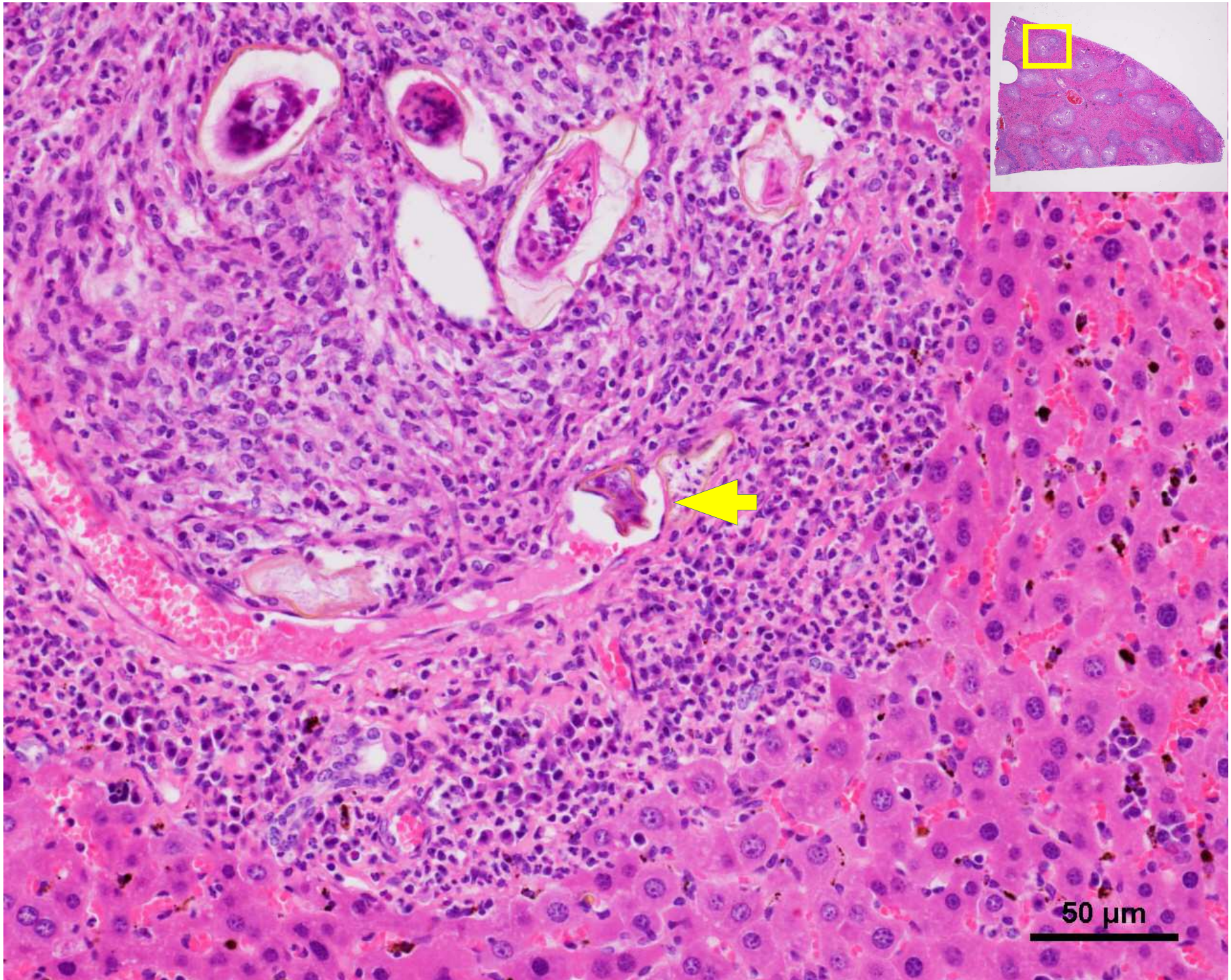
宮良優子

- 🐭 提出機関 National Institutes of Health (アメリカ)
- 🐭 症 例 2ヶ月, 雌, マウス (Swiss Webster)
- 🐭 病 歴 頭部を右側へ傾けており、ふらつきが見られた。
- 🐭 肉眼所見 肝臓に肉眼所見は認めなかった。

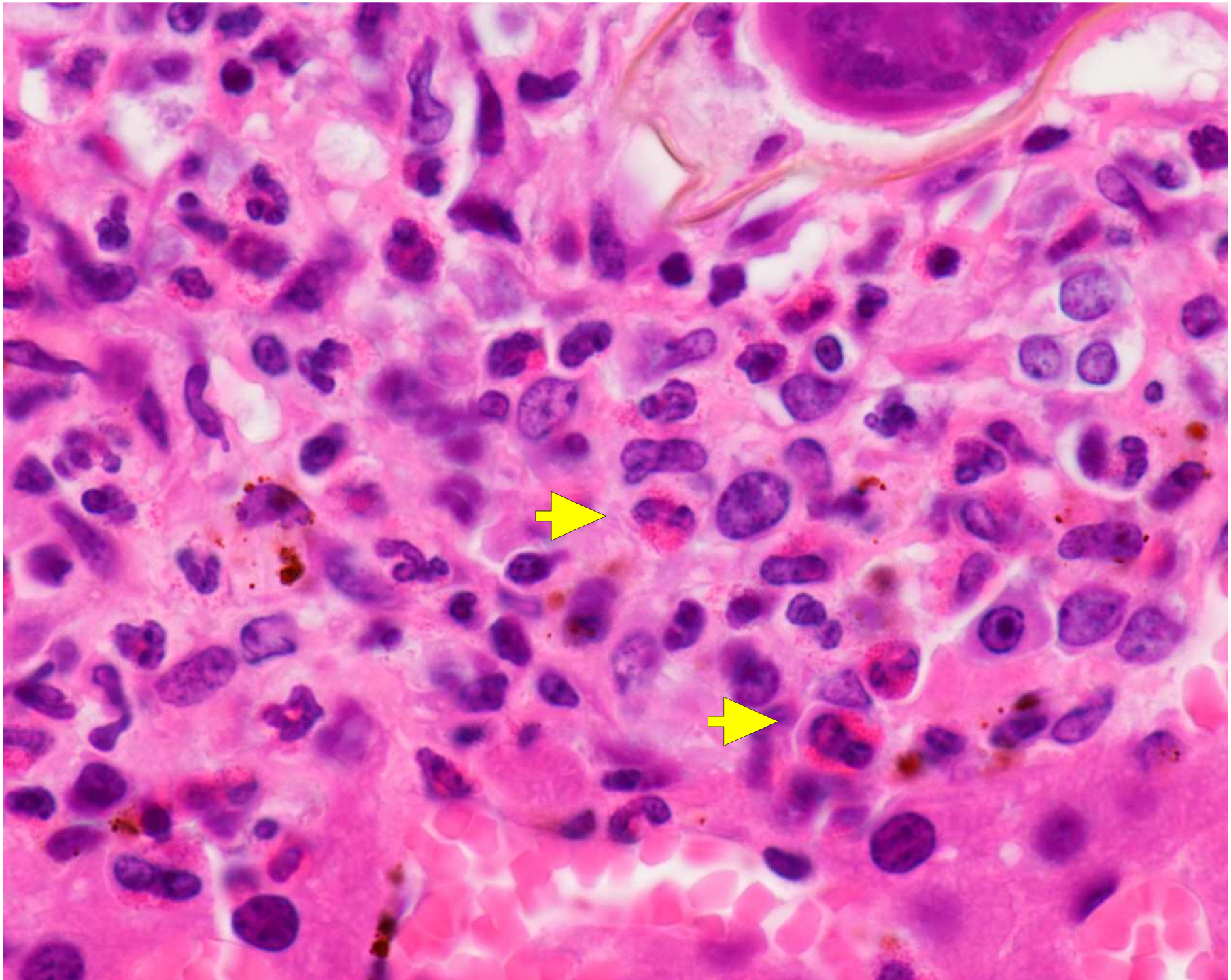


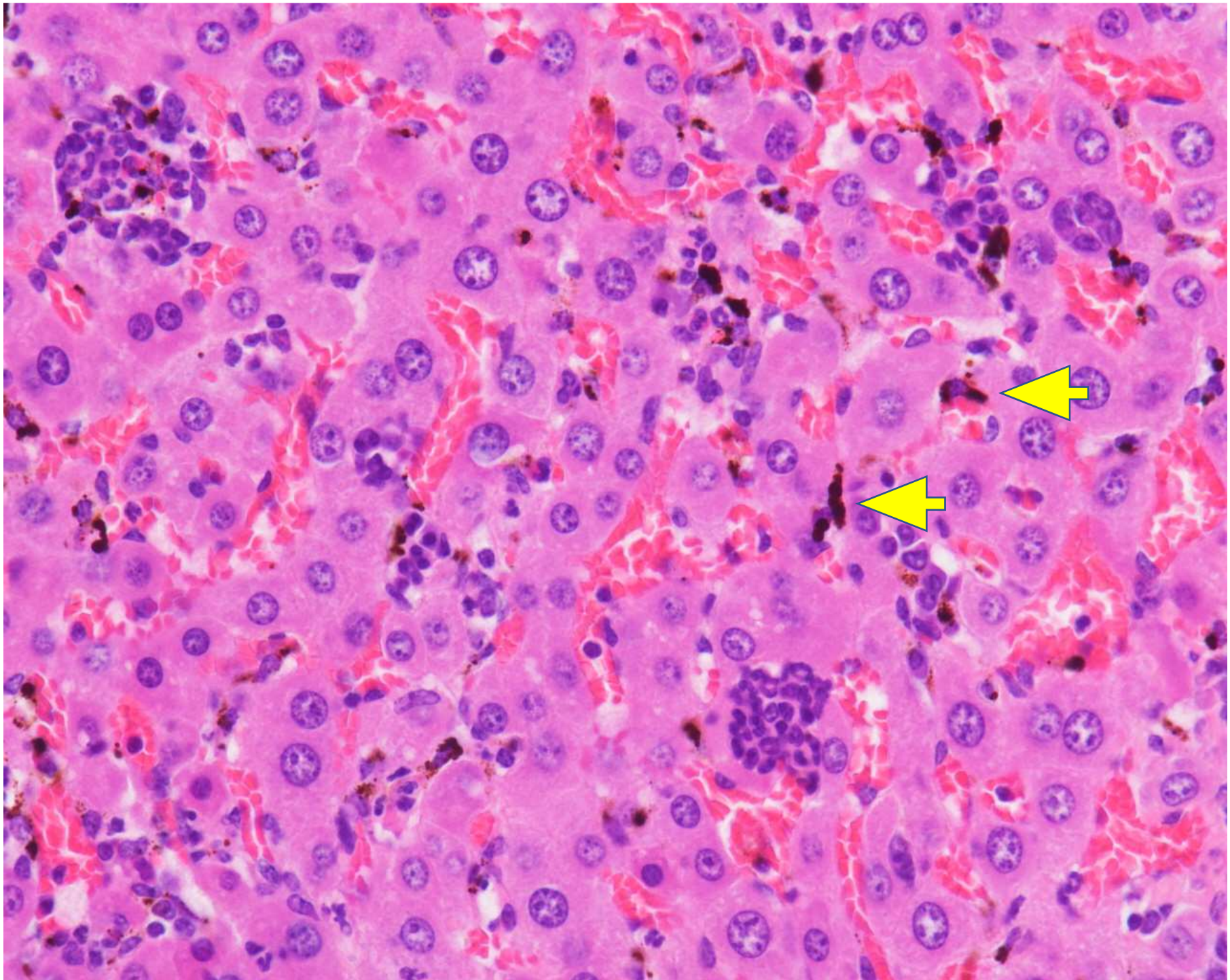












提出者の診断

肝臓: 肝炎、門脈域周囲性及び門脈域性、肉芽腫性～化膿性肉芽腫性及び好酸球性、多病巣性～癒合性、重度、慢性。
住血吸虫卵に一致する多数の寄生虫卵を伴う。

Liver, hepatitis, periportal and portal, granulomatous to pyogranulomatous and eosinophilic, multifocal to coalescing, severe, chronic with multiple parasitic eggs consistent with Schistosomes.

JPCの診断

肝臓: 肝炎、肉芽腫性及び好酸球性、ランダム～門脈域。
多数の住血吸虫卵及び中等度の組織球内吸虫の排泄物を伴う。

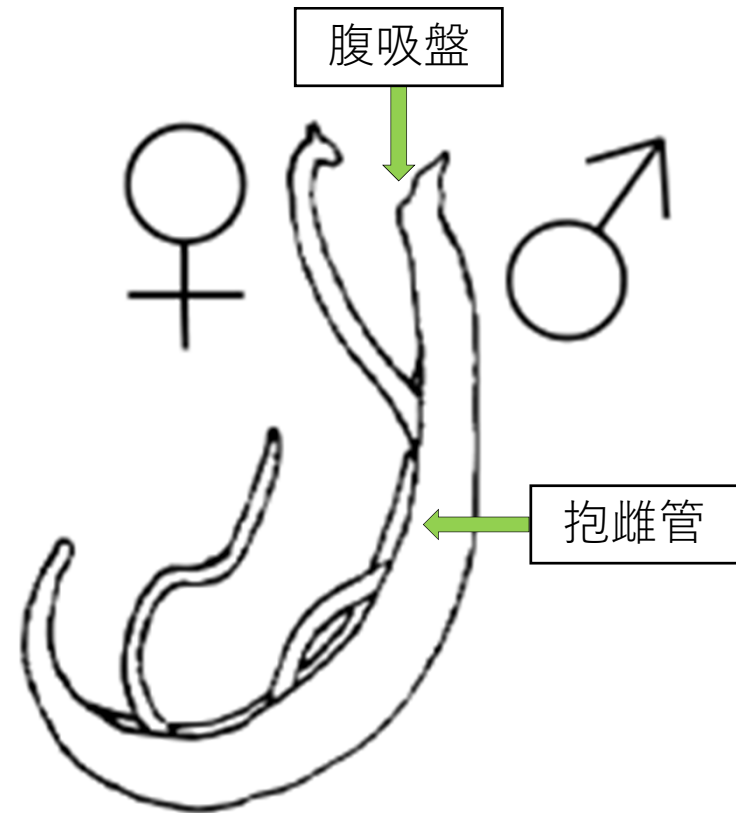
Liver: Hepatitis, granulomatous and eosinophilic, random to portal, with numerous schistosome eggs and moderate intrahistiocytic fluke excrement

住血吸虫症について

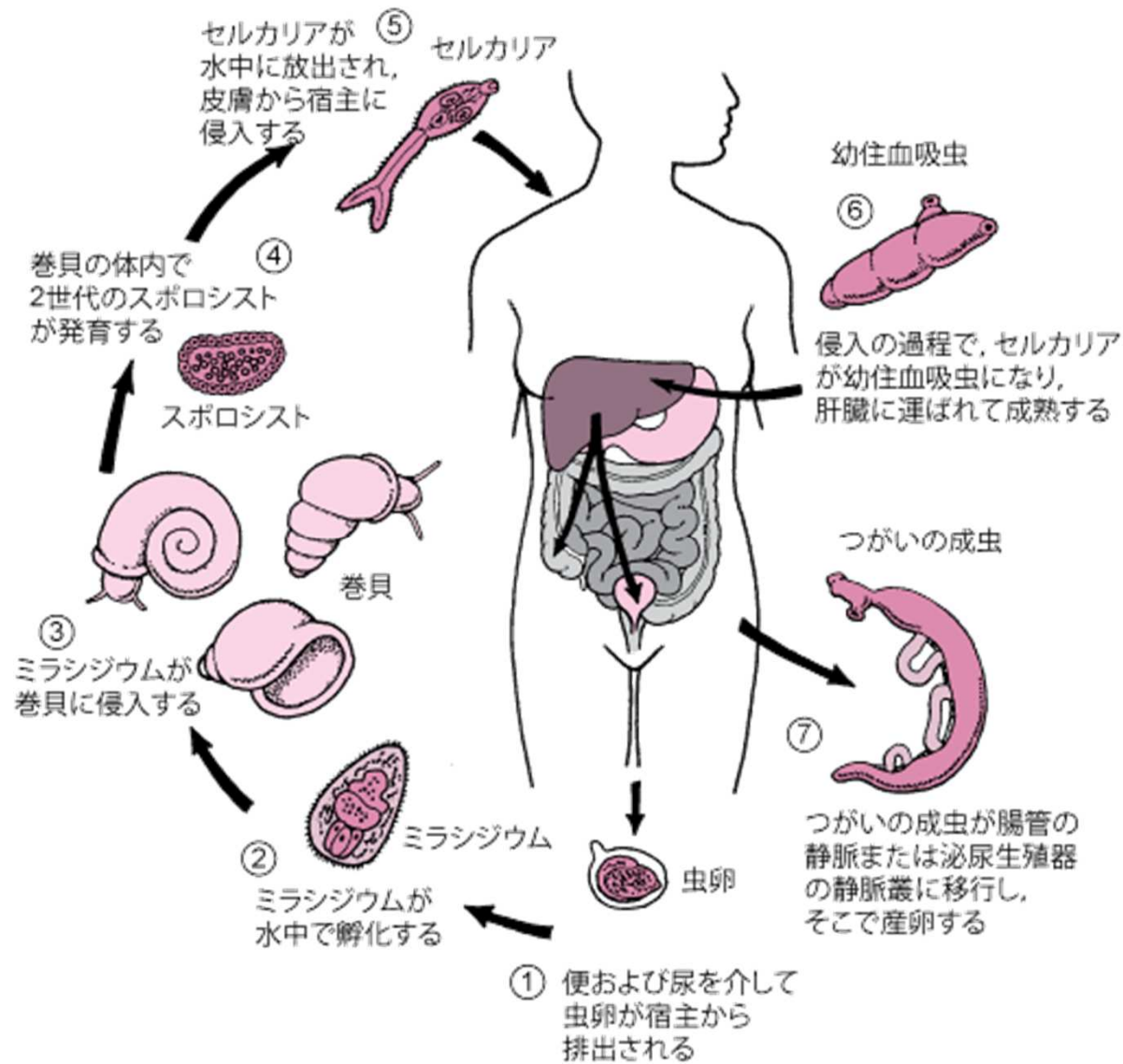
- ☞ 世界中で二億人以上の人々に影響を与えている。
- ☞ 中間宿主は巻貝。多くの哺乳類に寄生。
- ☞ 吸虫類の中で、住血吸虫のみが雌雄異体。

種	類	中間宿主	終宿主	寄生部位	発 生
日 住	血 吸 本 虫	ミヤイリガイ	ヒト 多くの哺乳類	門脈 腸間膜静脈	東アジア、東南 アジア(日本除く)
マ 住	ン 血 吸 虫	ヒラマキガイ科 巻貝	ヒト含む霊長類 げっ歯類	大腸壁静脈	アフリカ、南米
ビ 住	ル 血 吸 虫	ヒラマキガイ科 巻貝	ヒト含む霊長類	膀胱静脈叢	中近東、インド、 ポルトガル、ア フリカ

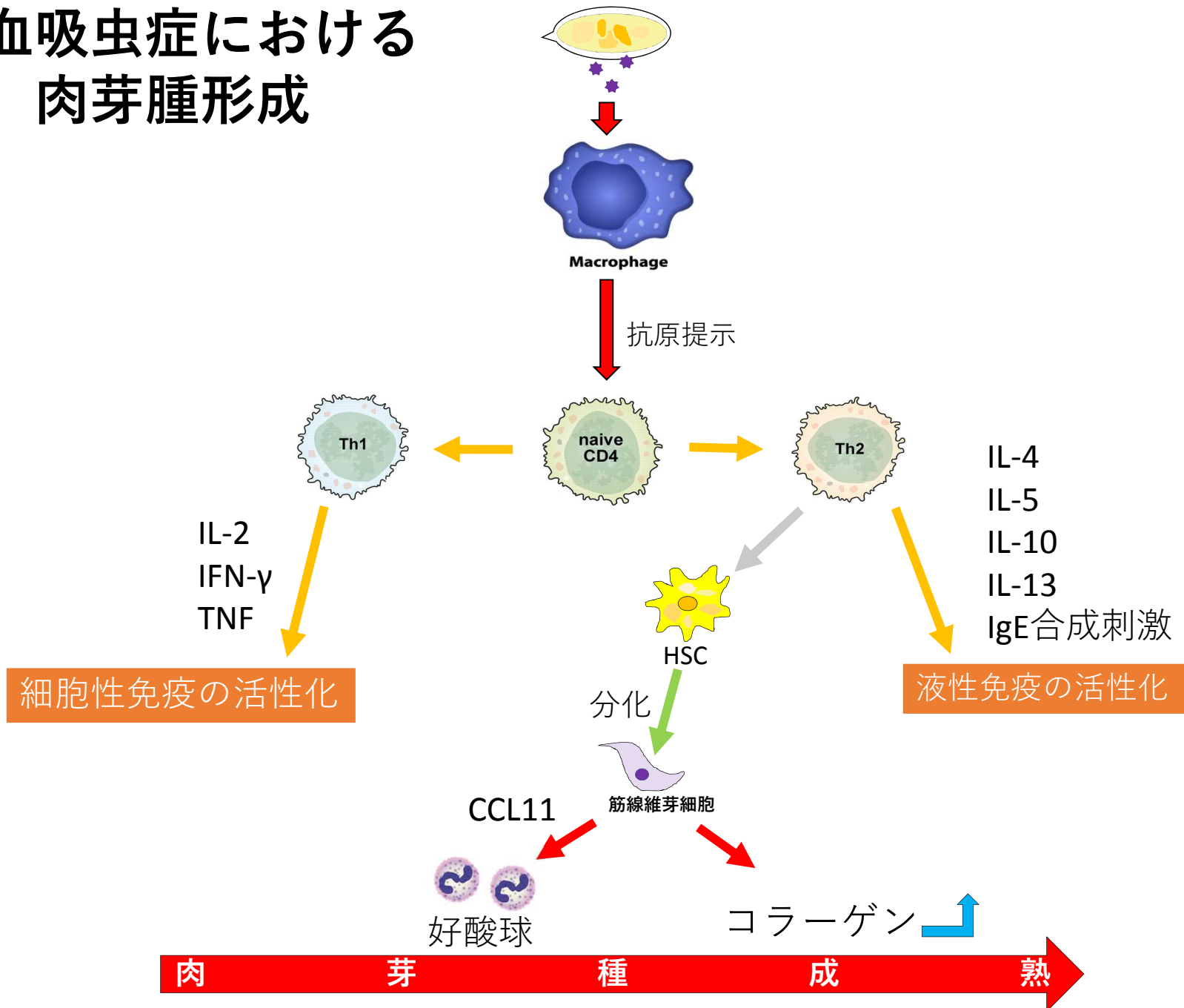
住血吸虫は雌雄異体！



生活環について



住血吸虫症における肉芽腫形成



会議のコメント

住血吸虫症(Schistosomiasis)

- 中間宿主は巻貝。発生地の家畜では一般的。
- 成虫や虫卵塞栓による肝臓や肺、消化管などで傷害が生じるケースもある。
- *Heterobilharzia americana*はイヌに出血性下痢や嘔吐、腹水貯留などを伴う肝臓肉芽腫を引き起こす。
- 本症例の吸虫種は特定出来なかった。
- クッパー細胞内の褐色色素について、血液色素(hemozoin)、吸虫の排泄物又はその両方だという意見が出た。

住血吸虫の虫卵について

S.japonicum



S.mekongi



S.intercalatum



S.mansoni



S.haematobium